

# 町内3地区が重要里地里山に認定

環境省が選定する「生物多様性保全上重要な里地里山」に町から県内最多の3カ所が選定されました。保全や活用の取り組みに拍車がかかり、地域活性化につながることを期待されます。

「生物多様性保全上重要な里地里山（重要里地里山）」は、貴重な生物の生息場所や里山保全の先進的な取り組みを行っている地域を選定する環境省の制度で、昨年12月18日に全国500カ所が選定されました。このうち町からは「岩井戸地区」「春蘭の里」「小木地区」が選ばれました。環境保全の必要性が大きい里山や保全活用のモデルとなる先進地を認定することで、保全を促進させることが狙いです。また、地域における農産物のブランド化や観光資源としての活用も想定されています。

## 小木地区

**活動主体**  
グリーンキーパーズ、のと海洋ふれあいセンター

小木地区はリアス式海岸で、古くから天然の良港として栄えてきました。入り組んだ九十九湾周辺で、地域住民グループ・グリーンキーパーズと県内の大学が連携し、森と海を行き来する「アカテガニ」の生態調査や観察路整備などを行っています。グリーンキーパーズは地元の人に身近な自然に興味を持ってもらおうと、自然観察会やシーカヤック体験、森で採取した材料を使った工作などを実施しています。民家を改装した活動拠点「おぎの番や」でワークショップを開いて地域や環境に貢献したい人の交流の場を設け、コミュニティビジネスの創出も視野に入れて、地域活性化にも取り組んでいます。



シーカヤックで海から自然観察



## 岩井戸地区

**活動主体**  
株式会社ぶなの森、当目夢を語る会、石川県立大学学生援農隊「あぐり」、岩井戸公民館

鉢伏山山頂付近に広がるブナ林



地形が入り組み、森と海が近接した小木地区



森にすむアカテガニ

岩井戸地区は町野川水源の鉢伏山麓に広がる山村地域です。なだらかな雑木山や農地、棚田を中心とした土地利用が維持されています。ハッチョウトンボやホタルなど貴重な水生生物も確認されていて、良好な水辺環境



地区で実施された水生生物の観察会

です。鉢伏山はブナ林保護の取り組みが評価され、昭和58年に「21世紀に残したい日本の自然百選」にも選ばれています。地元有志による「当目夢を語る会」は学生援農隊「あぐり」と連携して地元産米のブランド化に取り組んでいます。首都圏に売り出すなど里山の魅力をPRしています。地区に伝わる「猿鬼伝説」を冠した「猿鬼歩こう走ろう健康大会」が今年30回の節目を迎えるなど、息の長い地域づくり活動を続けています。

です。鉢伏山はブナ林保護の取り組みが評価され、昭和58年に「21世紀に残したい日本の自然百選」にも選ばれています。地元有志による「当目夢を語る会」は学生援農隊「あぐり」と連携して地元産米のブランド化に取り組んでいます。首都圏に売り出すなど里山の魅力をPRしています。地区に伝わる「猿鬼伝説」を冠した「猿鬼歩こう走ろう健康大会」が今年30回の節目を迎えるなど、息の長い地域づくり活動を続けています。



キリコ祭りを体験する大阪の修学旅行生

## 春蘭の里

宮地・鮭尾・柏木・太田原

**活動主体**  
春蘭の里実行委員会



山菜採りを楽しむ外国人観光客

春蘭の里は、山田川上流域の山間部一帯に広がる里山地区です。キノコや山菜など、里山の恵みを受けた暮らしが受け継がれています。地元有志によって構成される「春蘭の里実行委員会」は農家民宿の運営や体験メニューを提供しています。農業体験によって、里地里山が維持管理されているほか、ボランティアと協働で耕作放棄地にソバなどを栽培し、景観の向上にも取り組んでいます。里山の営みが生んだ景観は貴重で、平成21年1月にいしかわ景観総合条例・景観形成重点地区の第一号に指定されています。外国人旅行者や修学旅行の受け入れも積極的に実施していて、元気な里山づくりの象徴として全国的な知名度も高く、活動のさらなる活発化が期待されます。

# 第30回 深紅の花「のとキリシマツツジ」を楽しもう！！

## 猿鬼 歩こう走ろう健康大会

日時 **5月8日** 雨天決行  
 午前7時30分～8時30分 受付・健康診断  
 会場 **柳田運動公園** (柳田体育館・野球場)  
 申込 **3月30日** まで

\*参加申込書に参加費を添えて最寄りの金融機関窓口(興能信用金庫の場合、手数料は不要)へ持参。用紙は役場各庁舎、各公民館、興能信用金庫各店窓口、教育委員会事務局などにあります。

\*現金書留・郵便小為替で事務局へ郵送または持参  
 \*インターネット・携帯サイト (<http://runnet.jp/>) から申込み

### 種目

○走ろうの部 ハーフ、10 km、5 km、3 km

※ハーフは12時までの時間制限がありますのでご了承ください。

○歩こうの部 (当日申込可)

せせらぎコース6 km、やませみコース10 km、健脚猿鬼コース16 km

参加費 歩こうの部：1,500円 (年齢は問いません)

走ろうの部：一般3,000円、高校生以下1,500円

### お問い合わせ

猿鬼歩こう走ろう健康大会事務局 (教育委員会事務局内)

☎ 0768-72-2509 FAX : 72-2393

e-mail : [kyouikuiinkai@town.noto.lg.jp](mailto:kyouikuiinkai@town.noto.lg.jp)

### ゲストランナー



世界陸上セベリア大会  
 女子マラソン銀メダリスト

**市橋有里**さん



松波酒造での職業体験



山合いの空き家を訪問

昨年4月以降、皆様にご協力をいただき、6組11人を町への移住につなげることができました。さらに12月は6組、1月には3組の移住体験を受け入れ、引き続き移住につなげるように支援にあたっています。

首都圏・関西地区はもとより、遠くはアメリカやフランス在留の日本人からも能登町に移住したいという問い合わせを受けており、移住の意向が多いことを実感しています。

更なる移住につなげるために、活用できそうな空き家がありましたらぜひ情報をお寄せください。

町定住促進協議会事務局  
 (ふるさと)振興課内  
 ☎ (02) 0260



住まいや生活、仕事などお気軽にご相談下さい

第五回 能登町移住レポート

多くの相談にうれしい悲鳴  
 冬も定住支援に奔走しています

大切な子どもたちを守りたい・禁煙は愛

## タバコについて考えるフォーラム in のと

日時 **2月20日** (土)  
 13:00～15:00

場所 **コンセルのと**  
 多目的ホール

### ■講演会

「能登町のタバコの現状」 町健康福祉課保健師

「児童生徒へのタバコに関する

アンケート調査から見えてきたこと」

まるおかクリニック 丸岡達也院長

「禁煙外来について」

持木メディカルクリニック 持木大院長

### ■私の禁煙ストーリー

能登町議会議長 鍛冶屋真一氏

珠洲鳳珠歯科医師会会長 草山和人氏

■景品当ります！参加型トリビアクイズ

■健康チェック

肺年齢・口腔・味覚チェック、血圧測定等

■禁煙支援相談

☎ 県医師会 ☎ 076-239-3800、町健康福祉課 ☎ 72-2504

## 3月、東京で

## のとキリシマツツジ展

のとキリシマツツジは、17世紀に江戸へ持ち込まれた「キリシマツツジ」に品種改良が加えられ全国に広まったものの1つです。

NPO法人「のとキリシマツツジの郷」が3月上旬、2カ月早く開花させたのとキリシマツツジの盆栽を東京都調布市の神代植物公園で展示し、苗木販売も行います。期間中にはシンポジウムも開催されます。

### 能登に残る江戸の園芸

～のとキリシマツツジ展～

期間 3月8日(土)～13日(日) 9:30～16:30

場所 神代植物公園 (東京都調布市)

シンポジウム 3月12日(土) 13:00～16:00

☎ のとキリシマツツジの郷 ☎ 76-2277



### ゲスト



写真家 **梅佳代**さん

町スポーツ少年団指導者研修会  
**アスリート支えた技術学ぶ**

12月13日、能都体育館でスポーツ少年団指導者研修会があり、指導者や団員の保護者など約30人が心肺蘇生法などの実技に臨みました。

元広島東洋カープスポーツトレーナー・鈴木卓也さんを講師に迎え、ウォーミングアップやフォーム修整に応用できるストレッチの基本動作を学びました。プロ野球の現場に関わった技術に触れようと、近隣の市町からも多くの指導者らが参加しました。



動きを伴う「動的ストレッチ」を学ぶ参加者

交通安全祈願祭  
**今年も交通死亡事故「ゼロ」に**

能登交通安全協会の交通安全祈願祭は1月8日、宇出津の酒垂神社で行われました。安協役員や婦人会、安全運転管理者協議会員など関係者約30人が参列し、今年一年の交通安全を祈りました。新平悠紀夫交通安全協会会長は「皆様のご協力をいただき、事故防止に努めます」とあいさつ。中嶋道行珠洲警察署長は「安心安全な街づくりに取り組んでいきます」と話し、死亡事故ゼロに向けて決意を新たにしていました。



交通死亡事故ゼロを願い神事に臨む関係者

完成した飛行機を飛ばす児童



まつなみキッズセンターで紙飛行機づくり  
**大場飛行士の偉業を未来へ**

まつなみキッズセンターで1月13日、秋吉出身の大場辰男飛行士にちなんで催しがありました。秋吉地区の有志で構成する「大場飛行士の偉業を称える会」が紙芝居を上演。空への憧れを抱いた大場飛行士が、奥能登初のパイロットとして大正14年に郷土訪問飛行を実現させるまでの物語を児童たちに披露しました。会員の手ほどきで紙飛行機作りもあり、児童は空へ思いをはせながら紙飛行機を飛ばしていました。



手際よくフクラギをさばく生徒たち

能登高校で食育講座  
**卒業しても故郷の味を大切に**

12月17日、能登高校で食育講座があり、進学や就職で環境が変わる3年生に、町食生活改善推進員と保健師、管理栄養士がバランスの良い食生活を呼びかけました。調理実習では地物のフクラギをさばいて照り焼きにしたほか、いしりを使った炊き込みご飯や小木地区に伝わるもち米粉の祝い菓子「べこもち」を作りました。卒業を間近に控える生徒たちは、手際よく調理を進めながら新生活に思いを巡らせていました。

宇出津港初競り  
**新春の市場に冬の味覚がずらり**



船から下ろされる立派なブリ

宇出津港の平成28年初競りが1月4日、県漁協能都支所であり、寒ブリを始めとする能登自慢の冬の味覚が並びました。

今冬はブリの水揚げが少ない日が続いていましたが、年末年始の休みの間に定置網に入った約150本のブリが水揚げされ、市場にずらりと並びました。カワハギやイカなど、ブリ以外の魚も豊漁となり、新春の市場に威勢の良い競りの声が響き渡りました。



まとまった量の水揚げに、競りの声に力が入る

ふるさとCM大賞グランプリ受賞  
**多くの人に町の魅力発信**

県内の自治体が地域の魅力を発信する「第14回ふるさとCM大賞」で能登町の作品がグランプリに輝き、12月17日に北陸朝日放送の吉岡英二編成局長から持木町長にトロフィーが授与されました。作品で名演技を見せ、受賞に貢献した上町保育所の仲谷胡春ちゃんと芦田風児くんに、持木町長から感謝状が手渡されました。グランプリの副賞として1年間、合計365本のCMが放映され、町の魅力が広く発信されます。



感謝状を受け取る主演の2人

豪快なバチさばきで観客を魅了する弥栄太鼓保存会員



弥栄太鼓初打ち奉納  
**無病息災願いバチ振るう**

宇出津の八坂神社境内で1月7日未明、町指定無形民俗文化財「弥栄太鼓」の初打ち奉納があり、深夜にもかかわらず多くの人が集まって、迫力ある太鼓に見入りました。初打ちは八坂神社の歳旦祭に合わせて毎年行われているもので、面を着けた弥栄太鼓保存会のメンバーが寒さをもものともせず、かがり火の灯りをあびながら激しく太鼓を打ち鳴らし、無病息災・諸願達成を祈願しました。

ま  
ち  
の  
出  
来  
事

# 能登町消防団出初式

1月9日、平成28年町消防団出初式が能都体育館で行われ、292人の団員が防災への決意を新たにしました。式典後は宇出津港いやさか広場で一斉放水し、勇壮な姿を見せました。被表彰者は次の皆さんです。

## ■消防庁長官表彰

退職消防団員報償  
林 一秀（元町消防団長）  
藪下 登（元町消防団副団長）

## ■石川県知事表彰

永年勤続功労章  
下野英一（上町・部長） 林 誠（小木・班長） 豊若幸介（白丸・班長） 脇田 剛（小間生・班長） 山口竜次郎（秋吉・団員） 橋本 章（不動寺・団員） 山本祐圓（不動寺・団員） 藤村真行（柳田・団員）

## ■能登町長表彰

退職消防団員感謝状  
坂森良伸（元白丸分団長 久田和義（元宇出津第2分団） 高柳勝義（元鶴川分団） 中野雅之（元松波分団）  
永年勤続功労章  
金田政夫（小木・班長） 新谷 篤（上町・班長） 磯部貴之（白丸・団員） 高倉隆（白丸・団員） 坂口貴紀（小木・団員） 中谷光裕（不動寺・団員） 横井将大（松

波・団員） 田端文之（小間生・団員） 花井幸広（岩井戸・団員） 平山章樹（小木・団員） 畑下圭吾（秋吉・団員） 上田尚憲（小間生・団員） 川崎裕行（宇出津第1・団員） 中村 昇（三波・団員） 濱島和昭（白丸・団員） 井口豊勝（松波・団員） 牧野智和（松波・団員） 干場努（上町・団員） 須磨照秋（上町・団員）

## 優良団員表彰

玉地正幸（宇出津第2） 下平真澄（高倉井上亮太（宇出津第1） 佐藤正和（鶴川） 尾谷真悟（宇出津第1） 影田 峰（鶴川） 寅松大輔（小木・団員） 石川直哉（小木・団員） 石川裕弥（小木・団員） 出村俊幸（山田・団員） 坂下真也（鶴川・団員） 時長大和（宇出津第2・団員） 新田俊幸（白丸・団員） 橋本吉郎（秋吉・団員）

## ■消防団長表彰

### 精勤章

稲葉義康（鶴川） 坂 威武希（柳田） 干物弘治（宇出津第2） 谷口翔太（小木）

## ■平成27年入団者（9人）

兵伊 司（高倉） 上井 聡（小間生） 喜多義昭（三波） 坂上大将（秋吉） 石脇暉久（高倉） 川端健太（鶴川） 寺内崇博（上町） 松谷俊志（上町） 山下智彦（宇出津第2）

## 119番は消防本部(輪島市)の高機能消防指令センターで受付

奥能登広域圏事務組合消防本部の新庁舎移転に合わせ、3月下旬から高機能消防指令センターの運用を開始します。

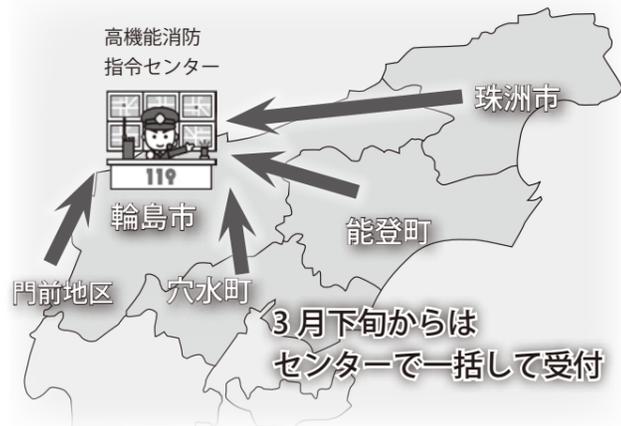


高機能消防指令センターが置かれる本部庁舎

高機能消防指令センターでは、新たに導入される位置情報通知システムによって、通話しながら位置情報が通知されます。災害等の発生場所を素早く特定し、119番を受信しながら出動の指令ができますので、今まで以上に効果的な消防活動が可能になります。

### 注意

「184」が付加され、発信者番号非通知の場合、位置情報は通知されません。ただし、生命・身体等に差し迫った危険があるなど、消防本部等で緊急に位置情報が必要であると判断したときは、位置情報を取得することがあります。



119番のかけ方についてはこれまでと変わりませんので、落ち着いて通報してください。

奥能登広域圏事務組合消防本部  
☎ 0768-22-0327



整備中の高機能消防指令センター設備

## 2月から消防サイレンは時報と同じスピーカーで鳴らします

電波法令の改正で、現在の消防救急無線（150MHz帯アナログ）が停波します。このため2月1日から、アナログ無線で制御していたモーターサイレンの使用をやめ、有線放送による屋外スピーカーでサイレンを鳴らすことになりました。

サイレンの鳴る位置がこれまでと異なりますのでご注意ください。

能登消防署 ☎ 62-0492  
総務課危機管理室 ☎ 62-8510

